

公開授業 学習構想案(略案) 中 2年

授業者 吉岡 位織 学校名 八代市立日奈久中学校

題材名 青の表現～藍で染める～

題材の目標

- (1) 藍染の様々な染め方(絞り方)によってできる模様や色の違いに気づいたり、様々な表現方法を身に付けたりする。
- (2) 藍染の様々な表現方法を試したり、他者の作品を参考にしたりしながら、自分の表したい模様や色を追求しながら創造的に表す。
- (3) 表したい模様に応じて 創意工夫をし、表現することに関心を持って、意欲的に取り組む。

題材終了時の児童・生徒(題材のゴールの姿・期待される姿)

○様々な染め方によってできる模様や色の違いに関心を持ち、参考作品の模様や色の表現や、他者との対話などを基に、意欲的に表現しようとする生徒。

題材を通した学習課題
(題材の中心的な学習課題)

題材で働かせる見方・考え方

○藍染による表現を通して、模様の違いや色の濃淡に着目し、意図に応じて創造的に表す。

○模様や色の違いに着目し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。

指導計画と評価計画(3時間取扱い 本時3/3)

過程	時間	学習活動	評価の観点等
1次	1	制作を通して藍染について知ったり、参考作品から様々な表現方法に気づいたりして、作品制作に対する意欲を高める。	【知】藍染の技法や、様々な表現方法に気づいている。 【態】学習の見通しを持ち、意欲を高めている。
2次	1	様々な表現技法を試しながら、自分が表したい色や模様を構想する。	【思】様々な表現方法を試しながら、自分が表現したい作品の構想を練っている。 【態】様々な表現方法を意欲的に試している。
3次	1 (本時)	構想した模様や色をもとに、自分の方法で藍染での表現を行う。	【思】構想に近づけるように、絞りや染めを工夫して取り組んでいる。 【態】構想した作品の表現を目指し、協力しながら意欲的に作品制作に取り組んでいる。

研究テーマとの関連

- 【研究の視点①】 前時の感想を紹介し振り返りを行ったり、生徒が構想した作品を紹介したりすることで、本時の活動の見通しを持たせ、制作に対する意欲を高める。
- 【研究の視点②】 構想したイメージを基に作品制作に取り組むことができるように、イメージ図をすぐ確認できるようにしたり、染め方を振り返ったりできる場の設定をする。
- 【研究の視点③】 意図した表現に近づくことができたかどうか、友だちの作品を見てどう感じたかなど、振り返りの視点を提示し、感想カードを記入させる。

【本時の目標】

本時の学習

- 構想に近づけるように、絞りや染めを工夫ながら藍染を行うことができる。
- 班で協力しながら意欲的に作品制作に取り組むことができる。

過程時間	学習活動	指導上の留意事項	備考
導入 5分	<p>1 前時の振り返りを行い、本時の活動の見通しを持つ。</p> <p>①感想カードをもとに、前時の学習を振り返る。</p> <p>②構想したイメージ図をグループ内で確認しながら、本時の活動の見通しを持つ。</p>	<p>○制作の流れを振り返るため、プレゼンテーションで染め方の手順の写真を見せる。</p> <p>○各自でイメージ図を常時確認できるように、イメージ図を印刷し、生徒に渡しておく。</p>	<p>感想カード</p> <p>ワークシート</p> <p>イメージ図</p>
<p>めあて 考えたデザインをもとに、班で協力してみんなの布を染め上げよう！</p>			
展開 40分	<p>2 構想したイメージ図に沿って、染色する。</p> <p>①イメージ図に沿って、布に様々な「絞り」を施す。</p> <p>②布を染液に入れる。</p> <p>③布を染液から出し、水に通す。</p> <p>④布を空気に触れさせ、酸化させる。</p> <p>⑤イメージする濃さに近くなるように、②～④を繰り返す。</p> <p>⑥水でよく洗って乾かす。</p>	<p>○「絞り」の作業に円滑に入れるようにするために、「絞り」のやり方を事前に各自で確認をさせ、「絞り」のやり方や、染めの手順を見える場所に掲示する。</p> <p>○グループ内で手順や絞り方を確認したり、サポートし合ったりするために、3人グループで作業させる。</p> <p>【具体の評価規準】</p> <p>【思】 構想に近づくように、絞りや染めを工夫している。</p> <p>【態】 構想した作品の表現を目指し、グループ内で協力しながら意欲的に作品制作に取り組んでいる。 (制作の様子・感想カード)</p>	<p>イメージ図</p>
まとめ 5分	<p>3 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○感想カードに本時の学習の振り返りを書かせる。</p>	<p>○振り返りの視点を与える。</p>	<p>感想カード</p>